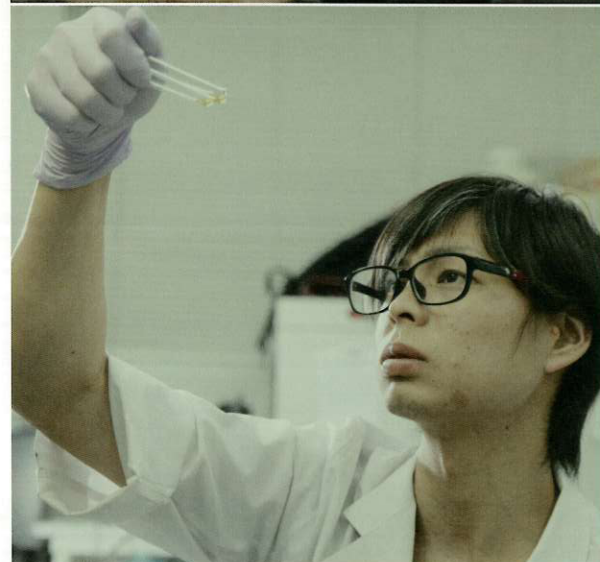
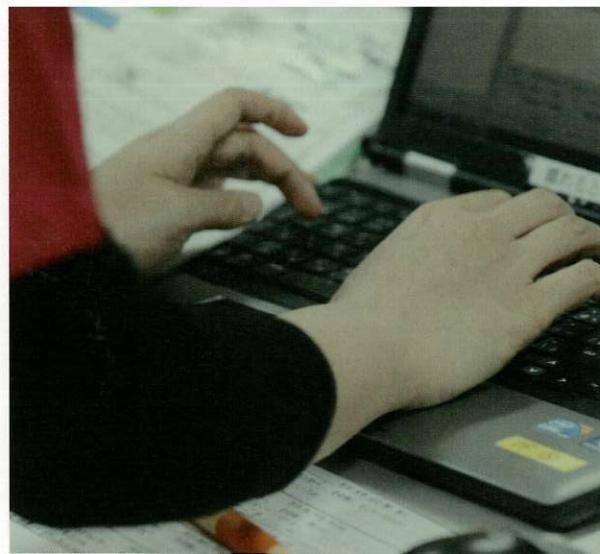


USHIODA GENERAL HOSPITAL



USHIODA GENERAL HOSPITAL

USHIODA GENERAL HOSPITAL

in Yokohama

汐田総合病院
研修ガイドブック



神奈川県民医連系列研修病院

川崎協同病院



▶ 別冊パンフレットを
ご参照ください。

戸塚病院



▶ 本パンフレットP.09を
ご参照ください。

お問い合わせ・お申し込みはこちら



神奈川県民主医療機関連合会

TEL: 045-320-6371 FAX: 045-320-6374

E-mail: igakusei@kanamin.or.jp

〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-35-1 第二米林ビル5F

詳細は神奈川県民医連ホームページへ

<http://kanamin.or.jp/>

神奈川県民医連

検索

USHIODA GENERAL HOSPITAL

横浜市鶴見区に根ざした病院で地域医療を担う医師を育てたい

当院は 1953 年に京浜工業地帯の横浜市・鶴見区で診療所として開設しました。以後継続的に発展し、2001 年 4 月には現在の鶴見区矢向に老健施設を併設した新病院として新築移転しました。24 時間救急をはじめ、一定の専門性を兼ね備えた総合病院として、予防からリハビリテーションまで一貫した医療を実践するとともに、高齢者医療、在宅患者の支援、地域の医療機関や介護福祉施設との連携にも力を入れています。

地域需要が高い高齢者医療を主体に、脳卒中からプライマリ・ケア、高齢者の複合疾患を各施設で幅広く研修することにより、地域医療を担う医師の育成を行っています。また医学的な研修のみにとどまらず、患者さんが抱える生活背景やその背後に潜む社会的問題にも目を向け、全人的に患者さんを捉え、サポートする力も身につける事ができます。

当院の医局は、全ての医師が同じフロアに属する総合医局であり、科と科の垣根が低く、日常的に各科の医師へのコンサルト、指導を得られることができるので、この環境を積極的に活用してもらうことで、様々な知識や技術を身に付けることが可能です。

横浜での地域医療に関心がある医学生皆さん、ぜひ一度私たちの医療を体験しに来てください。お待ちしております。



院長 医師
横浜市立大学 1988 年卒
小澤 仁

汐田総合病院 病院概要

汐田総合病院は、1953 年に開設された、横浜市鶴見区にある 261 床の総合病院です。地域の総合病院として初期治療・救急・回復期・終末期ケア・在宅医療にいたるまで幅広い医療を展開しています。



理念

医療・福祉・介護にわたる総合的なサービス提供を通して、患者様との協同、患者様と共につくる医療、信頼・納得の医療、無差別平等を追究します。

基本方針

地域の総合病院として、かかりつけ医療機関としての役割を果たします。

地域住民、かかりつけ患者様への救急医療に 24 時間対応します。保健・予防から急性期、リハビリ、療養期、在宅支援まで、総合的な医療とケアを実践します。

生活能力の回復までを視野に入れた高齢者医療を充実させます。総合病院としての専門性追求と地域連携で地域住民の健康を守ります。



急性期から在宅まで幅広い基礎知識と経験を学ぶ

汐田(うしおだ)総合病院の初期研修

研修の基本方針

Philosophy

1. 専門性にとらわれることなく、全ての医師に求められる基本的・総合的な臨床能力を身に付けた医師を養成する。
2. 日常の医療活動を常に学術的に検討するとともに、新しい医学の成果を謙虚に学び、医療内容の充実と向上に結びつけることができる医師を養成する。
3. チーム医療を理解し関連職種と良好な連携の中で、医療の責任者としての指導と援助を行える医師を養成する。
4. 広く社会・医療情勢に目を向けて医師としての社会的責任と使命を自覚し、患者の命と人権を守ることのできる医師を養成する。
5. 後継者育成のため、医学生や後輩研修医、関連職種の指導援助ができる医師を養成する。

プログラム責任者メッセージ

Message



地域と共に歩む初期研修を

私たち神奈川民医連の病院では、現在の卒後臨床研修が始まる前から 30 年に渡り、プライマリ・ヘルス・ケアを重視した地域の第一線の医療機関として、卒後研修を構築してきました。医師として日々研鑽を積んでいく中でも、最初の二年間はその後を左右する大切な期間です。

皆さんは「基本的な診断能力の獲得と人格の涵養」という医師臨床研修の理念をご存知でしょうか？当院の特徴は「common disease」に対する幅広い知識を獲得できることにあります。地域の医療機関であるため、日常の診療で頻りに遭遇する疾患に加え、内科系・外科系の救急疾患の初期対応も経験することができます。その中で、症例に基づく勉強のやり方、検査や治療方針、外来・救急における疾患のマネジメントを修得していきます。さらに医師としての人格の涵養を育むため、協調性、倫理性を持ちチーム医療の中でリーダーシップを果たしていく点を重視し、医師以外にもメディカルを含め病院全体で研修医を育てる文化の確立に努めています。患者さんの立場に視点を置き、患者さんが求める医療をチームで探求していく医療スタンスを構築することは大切なことです。

その他にも、急性期・慢性期・回復期リハビリテーション・地域包括ケアのケアミックス型病棟に加え往診や訪問看護といった在宅まで網羅しており、ひとりの患者さんに寄り添い、身体的のみならず精神的・社会的観点からもみる能力を指導医やメディカルと共に養います。

地域の人々の健康や生活を守るため、総合的な診療能力を持つ医師を目指す医学生を待っています。

副院長 総合診療科部長
研修プログラム責任者 指導医
昭和大学 1981 年卒
鈴木 義夫

公益財団法人横浜勤労者福祉協会グループ

Network

ヘルパーステーションみどり野
みどり野訪問介護ステーション
みどり野診療所
清水ヶ丘セツルメント診療所

都心やみなとみらい地区へのアクセスも抜群！
空港へもすぐなので
学会出張にも便利

尻手駅 ↔ 東京駅 約 20 分
尻手駅 ↔ 横浜駅 約 10 分
京急川崎駅 ↔ 羽田空港 14 分

YOKOHAMA

桐山診療所
汐田総合病院
老人保健施設やすらぎ
訪問看護ステーションミツ池
うしおだ在宅クリニック
ハイムさざんか
うしおだ診療所
うしおだ訪問看護ステーション
グループホーム菜の花の家
グループホームひまわりの家
ヘルパーステーションうしおだ
うしおだ介護支援センター
小規模多機能施設こすもす

初期研修プログラム

About Junior Residency



初期研修の特徴

[01 総合的な外科研修]

当院の研修プログラムには消化器外科と整形外科が組込まれています。さらに選択研修に脳神経外科があります。脳神経外科を選択することで、総合的な外科研修にすることが可能になります。

[02 全国規模の学習の場]

院内でのカンファレンスの他に、県内、関東、全国とそれぞれの規模で、関連病院との研究会やセミナーがあります。また、年に3回の学会やセミナーの参加機会が保障されています。
※研修管理委員会の承認を要します。

[03 スキルアップ研修]

初期研修2年間を通じて、選択したスキルを継続的に研鑽することができます。頻度や期間の選択にも柔軟に対応しています。

スキルの例

内視鏡／腹部エコー／健康診断／訪問診療／リハビリ回診／精神科デイケア など

期間の例

①週1回で1年間 ②2週に1回で2年間 など

[04 地域保健医療]

多様な医療活動を展開する診療所が協力施設になっており、在宅医療、病診連携、医療介護連携などを通して、地域包括ケアを実践的に学ぶことができます。

[05 希望に合わせた研修]

検査法の習得など研修医の関心・興味に応じ、院内資源を活用して研修期間を通して実施が可能なように配慮します。

[06 研修に専念できる]

初期研修中の身分は、協力施設での研修の際にも当院所属とし、施設が変わるときの手続きの煩わしさを極力省き、研修に専念できるようにしました。

[07 自由度が高い]

研修科の選択期間を設けてあり、研修プログラムに自由度を持たせ、研修医が自身でプログラムを作れるようになっています。

Characteristic

初期研修プログラム例 Example Program

1年目											2年目												
4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
導入期、プライマリ・ケア (総合診療科)				救急	消化器内科			消化器外科				整形外科	脳卒中				選択 総合診療科・外科・整形外科・ 脳外科・神経内科 (協力施設で)循環器・小児科			産婦人科	小児科	精神科	診療所
当直研修 (月4回程度)											研修協力施設にて行う												

プライマリ・ケア研修 (PC 研修)

初期研修におけるPC研修は内科研修の一部として位置づけられますが、導入期研修に引き続いて特定の診療科にこだわらずに、研修の一般目標とその具体化である行動目標を念頭に、各科研修に先立っての医師としての基礎的素養・技術を習得する時期として位置づけられます。また、一社会人としての自覚を持つことも求められる重要な時期であり、指導医集団と行動をともにする中で、多方面にわたる医師業務を知り、次第に順応できるようにします。日常の患者対応以外にも、各種カンファレンスへの参加、学術活動にも触れ、医師としての多面的活動を体験しながら医師業務への耐性と確信を強化します。

脳卒中研修

汐田総合病院は脳卒中学会認定研修教育病院でもあり、脳卒中を通してリスクファクターである生活習慣病管理、救急・集中治療、外科的治療法、リハビリテーション、療養ケア、介護・在宅ケアとの連携など、幅広い領域の基礎的知識と経験を学ぶ事ができます。初期研修における脳卒中研修では、明らかな脳卒中症状から患者の主訴する漠然とした症状による診断まで、様々な脳血管障害の診断・検査・治療の習熟を目指します。神経内科・脳神経外科医が担当し、脳梗塞、高血圧性脳内出血、TIA等の

脳血管障害を中心に、頭部外傷、脊椎・脊髄疾患、感染性疾患、老年性疾患等との鑑別も学びます。神経内科・脳神経外科の相互の特色を発展させつつ生かして「患者さんを民主的集団医療体制の中で治療していく」という方針のもと、チーム医療の一員として加わり、基本的医療技術の習得と、「患者の立場に立った医療」のあり方を学びます。週一回の抄読会では、脳神経系全般での視野で文献をもとに話題を提供、意見交換を行います。院外での症例検討会や各種学会への参加も積極的に行います。

週間スケジュール(各科)

	月	火	水	木	金	土
朝	病棟カンファ(外科)抄読会(神経内科)	病棟カンファ(外科)脳外科・神経内科合同カンファ	病棟カンファ(外科)抄読会(神経内科)	病棟カンファ(外科)新患カンファ(神経内科)	病棟カンファ(外科)総合内科カンファ(内科)	病棟回診
午前	手術(外科)	上部内視鏡(内科)手術(外科・脳外科)	手術(外科・整形)	上部内視鏡(内科)総回診(神経内科)手術(脳外科)	上部内視鏡(内科・外科)	
午後	手術(外科・整形)救急当番(内科系)下部内視鏡(内科)病棟カンファ総回診(神経内科)	手術(外科・脳外科)病棟カンファ(内科)下部内視鏡(内科)エコー研修(内科系)	手術(外科・整形)総合内科カンファ総回診(総合)	手術(脳外科)	手術(外科)EMR/ESD(消化器内科)総回診(整形外科)内科科合同カンファ病棟カンファ(神経内科)	

後期研修プログラム

About Senior Residency



初期研修2年を終了し、横浜で地域医療に取り組む意欲のある研修医を募集しています。

後期研修医は当院の研修理念のもと、研修コースに分かれた研修を行います。各コースとも総合的な診療能力を養うとともに、出向研修を含む専門的な研修となります。なお、詳細なプログラムは2017年度より施行予定の新専門医制度へ向け、整備を進めています。新しいプログラムが出来次第、随時お知らせいたします。

総合診療科

地域医療に求められる総合力を身につけるプライマリ・ケア研修

1 幅広い領域をまんべんなく経験できる

基幹型施設として、地域需要が高い高齢者医療を主体に、脳卒中からプライマリ・ケア、高齢者の複合疾患、各科の境界疾患を外来、病棟、在宅、施設で幅広く研修することにより、地域医療を担う総合診療医の育成を目指します。鶴見区内の中核病院での救急・小児科研修により、年齢にとらわれずに救急対応から入院までの一連の流れに対応できる能力を身につけます。

2 多職種との関わりで学ぶ全人的医療

医学的な研修にとどまらず、患者の生活背景や社会保障制度等の社会資源を活用する視点も養い、病気とともに患者が抱えている社会的な問題にもアプローチし、支援できる能力を身につけます。

総 | 合 | 診 | 療 | 科 | ロ | ー | テ | ー | ト | 例 |

1年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	総合診療専門研修II											
2年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	救急			小児			内科					
3年目	4 Apr	5 May	6 Jun	7 Jul	8 Aug	9 Sep	10 Oct	11 Nov	12 Dec	1 Jan	2 Feb	3 Mar
	総合診療専門研修I						選択					

脳神経外科

関連科との緊密な連携で、脳神経を総合的・専門的に学ぶ

1 知識と経験、確実な技術

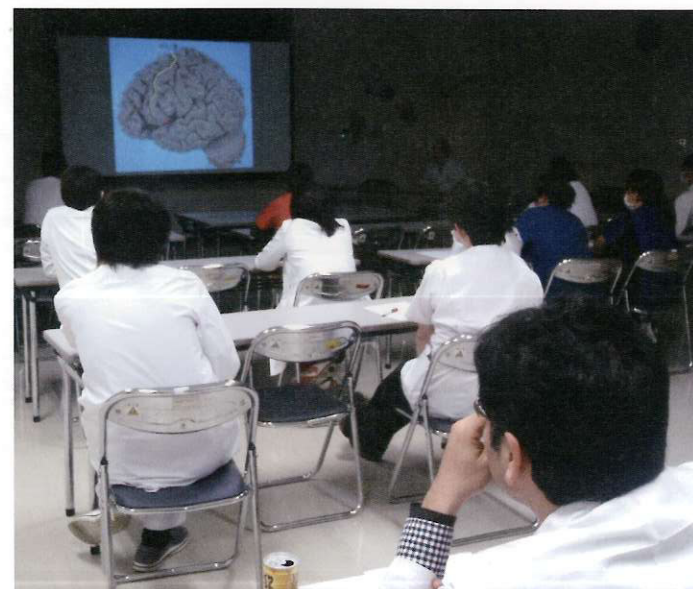
横浜市立大学を基幹型施設とする研修施設であることを鑑み、オールラウンドな研修を目標にしながら、最前線の病院においてニーズの高い脳血管障害、頭部外傷の診断・検査・治療の基本を身に付けるとともに、頭痛、しびれ、めまい、てんかん、認知症、内分泌異常のリハビリ等の一般脳神経疾患の治療に習熟することにも力点を置きます。

2 定期的な症例報告

神経内科との合同で毎週症例カンファレンスが開催され、新入院患者、問題症例、手術適応などについて検討します。

関連領域の学会へできるだけ発表・参加する事を奨励しています。

脳神経外科学会総会・関東地方会、脳神経外科コンgres、脳神経血管内治療学会総会・関東地方会、脳卒中の外科学会、脳卒中学会、神経病理学会、神経外傷研究会、老年神経外科研究会、その他



外科

大学病院との連携で、チームによる丁寧な指導・集団学習・評価

1 大学の専門医療を地域に生かす研修

- 消化器を中心に、癌や一般外科、化学療法、緩和医療等、地域に密着した総合病院の特色を生かしながら、東邦大学医療センター大森病院一般外科医局との協力のもとで研修を進めます。
- 胸腹部 CT、MRI、上・下消化管内視鏡などの読影を通して疾患を理解し、対処する方法を習得していきます。
- 各種疾患の手術適応を的確に判断し、適切な術前管理のもとに手術を実施し、適切な術後管理を習得していきます。
- 各種麻酔(局所、脊椎、硬膜外、全身)、各種モニタリング、外傷、熱傷等の各種疾患に対する対処方法を習得していきます。

2 診療上必要なスキルアップを基礎からトレーニング

- 後期研修中、研修医および指導医が後期研修の成果に関し定期的に評価を実施します。医師としての基本(患者様に対する態度、チーム医療、インフォームドコンセント等)を習得し、さらに外科医として求められる各種検査(胸腹部 CT、MRI、上・下消化管内視鏡)の手技、読影を通し適切な判断、対処能力を習得します。外科医として求められる基本的手技(CV、カテ、縫合法、各種ドレナージ法等)や基本的術式(虫垂切除術、胆嚢摘出術、胃切除術)の習熟度を設定し、可及的に客観的評価を行います。
- 各種抄読、カンファレンス、症例検討、学会参加などを通して最新の知見、手技の習得に努めます。

神経内科

豊富な症例、豊富な指導実績、地域で学べる最上級の神経内科

1 他科との連携で知識・経験を深める

一般内科としての知識の上にたち、その上に神経内科専門としての技量を磨くことを目的とした研修を進めています。科の特性上、脳神経外科や整形外科、リハビリテーション科と密接な連携の元に研修を進め、幅広い研鑽を行っています。

2 神経疾患を多岐にわたり経験

日常診療にあっては頭痛、めまい、しびれなどの訴えに適切に対処し、脳血管障害、特に脳梗塞の急性期から慢性期にかけてのマネジメント、パーキンソン病やアルツハイマー病などをふくめた神経難病・変性疾患の診断、治療法について学びます。

3 充実した研修環境

病棟で主治医となることにより、症例経験の蓄積をします。チームで総合的にチェックし、指導します。汐田総合病院全体の当直や内科・神経内科救急当番の業務を行うことにより神経救急の研修が可能です。豊富な症例があり、実践力も身につきます。

4 旺盛に取り組む学術活動

院内でも抄読、症例検討のほかに、適宜学習会を開催しています。



研修医よりメッセージ

Message from Intern

熱心な指導医たちが、基礎からしっかり教えてくれる

汐田総合病院を見学させていただいたとき、病床数は少ないけれどそのぶん1人1人の患者さんをしっかり診られそうだと思います。それが入職を決めた理由のひとつです。

総合診療科をまわった時は、患者さんの状態に応じて内視鏡や腰椎穿刺など他科の診療も見学させていただきました。疑問に思ったことや苦手な手技に関して質問すると、その時まわっている科の先生だけでなく、他科の先生方も熱心に教えてくださるので毎日良い勉強ができています。手技の機会がたくさんあり、疾患や管理についても基礎から考える機会が多く、大きな学びになっています。

現在は外科をまわっています。体力に自信がないので当初は大変でしたが、先生方が熱心に指導して下さるので充実した研修ができています。ぜひ一度、病院見学にきてみてください。



初期研修医
横浜市立大学 2015年卒
長谷川 知愛

専門に強くなり、専門外のことも幅広く経験できる

学生の頃から神経内科医になりたいという希望があったため、初期研修を終えた後も引き続き汐田総合病院で後期研修を学ばせて頂きました。具体的な研修内容については研修担当の先生と話し合い、月単位で見直して決めていきました。

脳外科との連携が強く、週1単位の血管造影では指導医の下でカテーテル手技を学ばせてもらいました。また、週1単位の外来カンファは、しびれや認知症など、外来でよく遭遇する神経内科の診かたを勉強するとてもよい機会になっています。

神経以外では日中の救急担当を週1~2単位、脳卒中救急担当を週1単位、内科外来を週1単位、外来当直を月4~6回受け持ち、内科疾患に限らず縫合や固定などの外科系の処置が必要な患者さんも積極的に診ています。専門に限らず内科、救急を広く学ばせて頂いています。

研修内容の希望についてじっくりと話し合いを持ち、実現できる方向を可能な限り模索してくれて、さらに追加提案も出してくれる、そんな病院だと思います。



神経内科専門医
愛媛大学 2009年卒
瀧瀬 康洋

研修医の出身大学

University

北里大学・東海大学・高知大学・富山大学・横浜市立大学・福島医科大学・
愛媛大学・新潟大学・群馬大学・金沢大学・香川大学



病院沿革

History

- 1953年 地域の方々との共同で鶴見区下野谷町に汐田診療所を開設
- 1960年 汐田病院開設(入院32床)
- 1975年 夜間救急輪番制による救急医療開始(入院128床)
- 1983年 脳血管障害センター開設
- 2001年 鶴見区矢向に新病院新築移転
- 2002年 近隣で最初の回復期リハビリテーション病棟を開設
- 2004年 病院機能評価認定
- 2007年 厚労省臨床研修指定病院となる
- 2010年 DPC運用開始
- 2013年 横浜市二次救急拠点病院Bを取得



施設概要

Outline

診療科目：内科(一般・呼吸器・循環器・消化器・糖尿病) / 神経内科 / 小児科 / 精神科 / 外科 / 整形外科 / 脳神経外科 / 婦人科 / 皮膚科 / 耳鼻咽喉科 / 眼科 / 歯科 / 泌尿器科 / リハビリテーション科 / 麻酔科

職員構成数：医師39名 / 薬剤師12名 / 看護師(助手含)150名 / 介護福祉士17名 / 作業療法士23名 / 理学療法士34名 / 言語聴覚士9名 / 検査技師14名 / 放射線技師11名 / 臨床工学士1名 / 栄養士3名 / 調理師3名 / ソーシャルワーカー6名 / ケアマネジャー4名 / 視能訓練士1名 / 事務37名

病床数：261床(一般病床153床、回復期リハ58床、地域包括ケア病床50)

(2016年1月現在)

認定・関連施設

Related Facility

日本医療機能評価認定病院(Ver1.2014年10月取得) 副機能：リハビリテーション病院(Ver1.0)

基幹型臨床研修病院 / 協力型臨床研修病院(川崎協同病院・立川相互病院・大田病院) / 日本脳神経外科学会専門医 研修プログラム施設 / 日本脳卒中学会研修教育病院認定施設 / 日本神経学会専門医制度教育施設 / 日本内科学会認定制度教育関連病院 / 日本外科学会専門医制度関連施設 / 日本整形外科学会専門医制度研修施設 / 日本眼科学会専門医制度研修施設 / 日本消化器内視鏡学会指導施設 / 救急告示医療機関

待遇

雇用形態：常勤職員 各種社会保険、年金、労災、有給休暇あり

給与(例)：初期1年目 345,000円
初期2年目 365,000円

手当：住宅手当、賞与年2回、当直手当、家族手当等有

寮：無

病院見学について

随時受け付けております。日程や内容に関しては可能な限り調整いたします。ぜひ一度、病院見学へお越しください。

うしおだ
汐田総合病院 〒230-0001 横浜市鶴見区矢向 1-6-20

TEL 045-574-1011 (代) 医学生担当

E-mail igakusei@ushioda.or.jp URL http://www.ushioda.or.jp/

横浜市の郊外、地域に最も近い小規模病院で学ぶ総合診療 戸塚病院後期研修プログラム「とつか」

～日々の経験から身体に染み込むように地域医療を修得する～

院長メッセージ

Message

予防から外来・入院・在宅まで総合的な医療が身につきます

戸塚病院は、設立当初から「働く人々の生命と健康を守り、患者さまの立場に立った親切で良い医療を行う」という理念をもって、地域医療活動を続けてきました。法人内に7診療所、4訪問看護ステーション、2ヘルパーステーションを有し、医療・介護の連携を緊密にとっています。また、慢性疾患管理・がんの早期発見・健康管理(健康診断)・在宅医療に力を入れて取り組んで来ました。さらに、救急告示病院として24時間救急医療にも取り組んでいます。「地域から信頼され、予防から外来・入院・在宅まで患者本位の総合的な医療」を更に進めていきたいと思っています。

医学生の皆さん、都市部の小病院の外来と病棟の医療、そして関連の連携施設での内科、小児科、救急医療をフィールドとして研修を始めてみませんか。心よりお待ちしております。



院長
プログラム責任者
徳島大学 1983年卒
端山 雅之

プログラムの特徴

- 1 地域に最も近い小規模病院で病棟・外来・往診で治療をシームレスに経験
戸塚病院は横浜市戸塚区に位置する95床の小規模病院です。患者さんは全て近隣住民の方なので、退院後のフォローも外来で継続します。更に病状が進行した際に、往診も経験するため、患者さんの治療をシームレスに経験することができます。プライマリ・ケアで重要とされるAccess(近接性)とContinuity(継続性)に最も適した病院です。
- 2 地域住民のヘルスプロモーション活動を経験できる
当院は生活協同組合のため、地域で健康づくりに取り組む組合員(地域住民)が豊富にいます。研修医は地域のヘルスプロモーション活動に講師などで参加し、地域住民の健康づくりを経験します。
- 3 同法人に介護施設を有し、患者さんを全人的に診る視点を養う
法人内に7診療所、4訪問看護ステーション、2ヘルパーステーションを有し、医療・介護の連携を緊密にとっています。プライマリ・ケアにおけるCoordination(協調性)を日常的に経験します。また、患者さんの療養生活に欠かせない介護との連携は、Comprehensive(包括性)を学ぶのに最適です。
- 4 病院総合医・家庭医の両面のキャリアパスを描ける
総合診療医には病棟も経験する病院総合医と診療所をベースに活躍する家庭医という方向性があります。当院のプログラムでは小規模病院と診療所の両方を経験するため、研修医が志向するキャリアパスに沿った成長が見込めます。

Characteristic

プ ロ グ ラ ム 例												
年目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年目	総合診療I						内科					
2年目	救急		小児科		総合診療I							
3年目	総合診療II						選択					

お問い合わせ・お申し込みはこちら

戸塚病院 担当：杉崎 憲 (事務長)
〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町 1025-6
TEL: 045-864-1241 FAX: 045-864-4155

E-mail: hp-ikvoku@mc-kanagawa.or.jp
URL: http://totsuka-hp.jp/



神奈川民医連のご紹介

What's "MINIREN"

神奈川民医連は1953年に4診療所によって結成されました。“無差別・平等の医療・福祉”“地域住民の医療・介護の要求に応える”ことを掲げ、地域住民の皆さんと共に地域に根ざした医療・介護を実践してきました。現在、4病院、26診療所を中心に老健施設、薬局、介護事業所などを有し(NETWORK MAP参照)、地域住民の健康を総合的に支えています。

民医連綱領 私たち民医連は、無差別・平等の医療と福祉の実現をめざす組織です。

- 一、人権を尊重し、共同のいとなみとしての医療と介護・福祉をすすめる、人びとのいのちと健康を守ります
 - 一、地域・職域の人びとと共に、医療機関・福祉施設などの連携を強め、安心して住み続けられるまちづくりをすすめます
 - 一、学問の自由を尊重し、学術・文化の発展に努め、地域と共に歩む人間性豊かな専門職を育成します
 - 一、科学的で民主的な管理と運営を貫き、事業所を守り、医療・介護・福祉従事者の生活の向上と権利の確立をめざします
 - 一、国と企業の責任を明確にし、権利としての社会保障の実現のためにたたかいます
 - 一、人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります
- 私たちは、この目標を実現するために、多くの個人・団体と手を結び、国際交流をはかり、共同組織と力をあわせて活動します。

奨学金のご案内

神奈川民医連では、医師を目指す医学生さんを対象に奨学金制度を運用しています。充実した学生生活を送るための、経済援助を行うものです。経済的な援助に限らず、医療を社会的側面や医師・患者関係の良好な構築などを様々な学習企画を通して学んでいます。年度途中からの申請も可能で、柔軟で利用しやすい奨学金制度となっています。

- 貸与額：月額8万円(返済免除規定あり)
- 特別貸付金：上限400万円(返済免除なし)

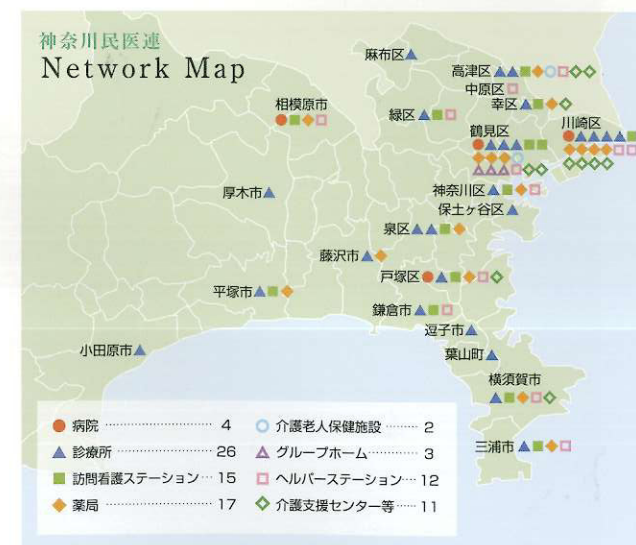
詳しくはこちらのパンフレットをご覧ください。
(パンフレットの取り寄せは下記までご連絡ください。)



ともに成長できる学びの場を

私達の奨学金制度は2つの特徴があります。1つは神奈川民医連に加盟する地域の病院で働き、患者さんに還元することで返済免除される点です。もう1つは奨学生としての学習活動を行う点です。将来医師になる上で大切な感性や知性を涵養し、共に成長する場を作っています。医療・社会情勢や人権問題、平和問題など、切り口は様々です。座学に加えてフィールドワークで実感を伴った学びも特徴です。私自身も学生時代に阪神淡路大震災後の医療支援、薬害エイズ問題、被爆者健康問題など、多くのことを他の医学生と学び交流したことが、臨床医としての財産になっています。多くの医学生に触れてもらい、共に成長したいです。

神奈川民医連 医学生委員長
川崎協同病院 小児科
北里大学 2000年卒
高村 彰夫



お問い合わせ・お申し込み

民医連 神奈川県民主医療機関連合会

TEL: 045-320-6371
FAX: 045-320-6374

E-mail: igakusei@kanamin.or.jp
〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町 3-35-1 第二米林ビル5F

詳細は神奈川民医連ホームページへ

http://kanamin.or.jp/ 神奈川民医連 検索